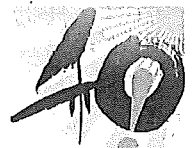




奥山 裕美さん
大阪府守口市
シャンブルAsami

熊本県の國米さんよ、務めさせていただいてりバトンを受け取りました。祖母が初代amiの奥山裕美と申します。

私は、大阪府守口市にある小さなビジネスホテルの3代目社長を



40をもつてJ K K K
金旅連・女性経営者の会
リレーコラム
Vol.125

替して今に至ります。

守口はその昔、東海道の宿駅でした。東海道は、江戸と京都を結ぶ主要ルートとして徳川家康が定め、途中には公用の人や物資、通信物などを次の宿まで運ぶ「宿駅」を置いていました。当初は四十数駅があったとされる

そうです。その後、大坂城の再建を始めた二代将軍・徳川秀忠が、

豊臣秀吉の制定した京街道（京都―大坂）を加え、新たに4つの宿駅を置きました。歌川広重が手がけた浮世絵

「東海道五十三次」は江戸―京都間でした

が、実際は江戸―大坂間を結ぶ「五十七次」の街道だったと考えられるそうです。守口宿はその終着点であったとされています。

が、とところどころ当時の名残りで昔のまち並みを思わせるところもあります。ご興味のある方はぜひ、観光にお越しください。

また、文祿堤（ぶんろくつつみ）は文祿年間に豊臣秀吉が諸大名に命じて建設した淀川左岸の堤防道なのです。守口は、大阪と京都を結ぶ京阪電車の途中駅で、比較的大阪寄り

もご利用いただける、アクセスの良い立地となります。小さなホテルではございますが、お客様の些細なご要望にも添えることができるように臨機応変な対応を心掛けております。真心のこもったおもてなしでお客様のお越しをお待ちしております。

次は、長野県・渋温泉 湯本旅館の湯本英里さんにバトンをお渡ししたいと思います。

東海道五十七次に建つ宿